

医学研究実施のお知らせ

厚木市立病院倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】 透析患者における潜在性結核感染症と微量元素に関する前向きコホート研究

【研究の概要】

■研究の目的

結核は、今なお全世界で毎年 1000 万人以上が感染しています。本邦においては 2020 年の新規感染者は 12739 人で、年間で 2088 人の死亡が確認され、これは先進国の中では最も高い値になります。結核に感染した場合、約 9 割は発病せずに潜在性結核という無症状の状態で経過しますが、腎不全/透析患者さんは結核による症状が出現する活動性結核となるリスクが非常に高いことが知られており、症状が出現していない潜在性結核の段階で治療を行なっていくことが重要ということがわかってきました。この研究では、透析導入患者さんの潜在性結核の検査を実施し、結核と診断された際には、標準的な治療を行い、透析患者の結核感染の実態把握の向上に役立てることを目的としています。さらに本研究では、同時に血中の微量元素（亜鉛、銅）を測定致します。微量元素とは生体内に極少量存在する物質で、近年の報告において免疫機能や心不全、糖尿病などとの関連性が注目されています。透析患者は一般的にこれらの疾病の罹患率、死亡率が高いとされており、本研究では生体内の微量元素の濃度と結核の関連性を明らかにすると同時に、微量元素と透析患者の死亡リスクの関連性についても調査していくことを目標としています。

■研究期間

2025 年 3 月 31 日まで

■対象となる方等

研究機関：厚木市立病院

対象となる方：2025 年 3 月 31 日までに厚木市立病院にて血液透析導入となった 20 歳以上の方で、本研究へ参加に拒否の意思のない患者さん

■研究に利用する試料、情報等

試料：T-SPOT 検査（約 6ml）、微量元素（約 2ml）

情報：結核のリスクを調査するための問診（結核患者との接触の有無、喫煙歴（Brinkman 指数）、飲酒量（1 単位/純アルコール 20g）、海外渡航歴、職歴（アスベスト・医療従事者））

■他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

概ね自施設で行いますが、様々な理由でフォローの外来受診が不可能であった場合、他機関と協力し、情報共有を行うことがあります。なお、その情報に関しては、外部ネットワークを通さない媒体にて情報共有を行います。

【問い合わせ先（対応時間：平日 8:30 ～ 17:00）】

厚木市立病院 046-221-1570

腎臓・高血圧内科 嵯峨崎 誠

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。